

生活者 通信

生活と政治をつなぐ情報紙

No.399
2024.12.1

東京・生活者ネットワーク

発行 東京・生活者ネットワーク
〒160-0021 東京都新宿区歌舞伎町2-19-13 ASKビル4・5階
TEL.03-3200-9189 FAX.03-3200-9274
Eメール tokyo@seikatsusha.net
URL https://www.seikatsusha.me
発行責任者 山内玲子
定価 年間1000円・1部100円 郵便振替口座 00130-3-18417
毎月1回1日発行 1994年5月23日第三種郵便物認可



生活者ネットワーク3つのルール

1 議員は交代制(ローテーション)

生活者ネットワークの議員は、交代制。議員を職業化、特権化せず、世代交代を進めることで参加の層を広げます。任期を終えた議員は、市民政治を広げるための活動や地域活動などに、その経験を活かします。

2 議員報酬は市民の政治活動資金に

生活者ネットワークの活動はカンパで支えられています。議員報酬は、市民の政治活動資金に活かします。お金の流れは公開し、政治資金の透明化をはかっています。

3 選挙はカンパとボランティアで

選挙は、政治に参加する入り口です。みんなでお金(カンパ)と知恵や労力(ボランティア)を出し合い、選挙を行います。

都議会ネット

■2024年第4回都議会定例会:12月3日~18日。代表質問10日、一般質問11日:岩永やす代登壇。常任委員会12日~16日、13日:公営企業委員会(岩永やす代)。

地域ネット

福生ネット

市議・三原智子の議会報告 みんなで話そう会
12月14日(土) 14:00~16:00 さくら会館3階和室(牛浜駅) 042-553-0701

中野ネット

不安虫ちゃんの参加型パネル展「香害ってなあに?」
12月17日(火) 14:00~20:00、18日(水) 9:00~19:00 中野区役所1階シアノマ(中野駅)
◇ワークショップ「このニオイ、わかりますか?」
18日(水) 14時頃~、15時頃~ 03-5942-6793

武蔵野ネット

市政報告会
12月22日(日) 10:30~12:00 かたらいの道市民スペース(三鷹駅) 0422-36-3767

武蔵野ネット

「具体例でみる」「70歳からの」おひとりさま終活セミナー~誰でもいつかはおひとりさま
2025年1月10日(金) 10:00~12:00 武蔵野ブレイス4階フォーラムA(武蔵境駅) 講師:長島愛さん(社会福祉士/行政書士) お話:市議・西園寺みきこ 0422-36-3767

八王子ネット

政治カフェ
1月18日(土)14:00~16:00 北野市民センター7階会議室1(予定)(北野駅) 参考本:「火を吹く 朝鮮半島」橋爪大三郎著 SB新書 本の紹介:浅野浩司(ネット会員) 042-623-8802

西東京ネット

第41回 今、平和かな?
1月19日(日) 10:00~11:45 J:COMコール田無多目的ホール(田無駅) イスラエル軍元兵士の非戦論。~「抑止力」という考えはもうやめよう~ 500円 主催:西東京地域協議会 042-453-4121

生活者ネットワークは東京都内32の自治体にあり、都議1人、市・区議39人の議員とともにそれぞれの地域課題に取り組むと同時に、市や区をこえた「東京問題」には全体で取り組んでいます。

東京を生活のまち、安心・共生・自治のまちにするために発言を続けます。



▶右:滋賀県危機管理センターの正面
▶左:滋賀県危機管理センター1階にある防災関連の展示
▲滋賀県の担当課からグリーンインフラ事業について説明を受ける。8月6日



「自然環境(滋賀の風土)がもつ自律的回復力をはじめとする多様な機能を積極的に活用し、環境と共生した社会資本整備や土地利用等を進める一石多鳥の取り組み」——滋賀県はグリーンインフラをこう定義。全庁連携で、各種団体や組織とも協働し、防災

減災、自然環境保全、地域振興などの課題を同時に解決する事業に取り組んできたという。自然環境を賢く活用——「ハーフト」両面から進める滋賀のグリーンインフラ事業

「草津川跡地公園」も廃川跡地活用で、ガーデン空間や公園の整備により交流拠点を創出。災害時の避難場所の確保にもなっている。「多様な主体の協働による小さな自然再生」では、市民による魚道の復活などの事業も位置づいている。

このほか、自転車で琵琶湖を一周する「ピワイチ」のルート整備なども、どれも自然を生かし、地域振興などにつなげている点で、参考にしたい取り組みだ。



立川生活者ネットワーク市議会議員 あべみさ

「流域治水」の取り組みについても聴くことができた。滋賀県は長年の議論を経て2014年に流域治水条例を制定。人命最優先の立場から、川

私に住む立川市も、多摩川や玉川上水、都市農業など豊かな自然や緑がある一方、多摩川の氾濫なども起きている地域だ。そうした立川市で、2020年に開業した複合施設「GREEN SPRINGS」が第4回グリーンインフラ大賞(24年発表)の特別優秀賞を受賞した。これを契機に、緑豊かで安心・安全、一層暮らしやすい地域となるよう、そして温暖化防止や生物多様性保持、防災減災のためにも、グリーンインフラを積極的に活用するよう働きかけていきたい。

立川市の優位な環境を生かす取り組みを前へ!

「グリーンインフラ」でまちを豊かに 滋賀県の多様な取り組みから学ぶ

地球温暖化による気候変動や頻発する大災害、生物多様性の喪失など現代社会が抱えるさまざまな課題の解決に向け、国が推進している「グリーンインフラ」。自然の機能を生かし、持続可能な魅力的なまちづくりを進める取り組みだ。国は昨年「グリーンインフラ推進戦略2023」を発表。各地で自治体による取り組みも進む。多く事業実績のある滋賀県庁を訪れ、その取り組みについて聴く機会を得た。

の中で水を安全に「ながす」対策だけでなく、森林や水田で雨水を「ためる」、建築規制や盛土で被害を最小限に「とどめる」、小学生の通学路危険箇所チェックや図上訓練で水害に「そなえる」を総合的に実施している様子がわかる。



の万能薬ではない。まして、「ザイム真理教」という陰謀論に染まったら、政策議論は不可能となる。バブル経済が終わって30年余り、アベノミクスが始まって10年余り、先送りを続けたことによって人口減少、産業の衰弱など日本の経済、社会の衰退は深刻化する一方である。野党が政権交代を目指すにあたって、問題を直視し、安易な万能薬はないという認識の上に、堅実な政策転換を積み上げていく構想を打ち出すことが求められている。野党優位の委員会審議で、そのような政策議論を展開してほしい。また、立憲民主党に対してローカルな政治からもインプットしなければならない。



山口二郎 法政大学法学部教授

野党優位の委員会審議で 堅実な政策転換を 積み上げていく構想を



衆議院選挙を受けた特別国会で、石破茂氏は首相に再選されたものの、少数与党による不安定な政権運営を余儀なくされることとなった。衆議院の主要な常任委員長を野党が取ったことの意味は大きい。第二次安倍政権以来、自民党一強体制という言葉が使われるようになり、欠陥のある法案の強行や不祥事の隠蔽などについて、政府、与党の国会軽視は目に余った。野党優位の下で、国会は本来の立法や調査の機能を発揮できる。石破政権は衆議院の多数を確保するために、国民民主党を話し合いの相手に選び、予算や税制に同党の注文を取り込もうとしている。しかし、これは連立政治の悪い側面が表れた現象である。キャスティングボートを握る政党は、その議席数に比して不相応な影響力を持つことがある。そこに小政党のエゴイズムが発揮されれば、犬が尻尾を振るのではなく、尻尾が犬を振り回すという倒錯した事態が起こる。国民民主党の唱える所得税の課税最低限の引き上げは、同党の主張する「手取りを増やす」手段としては下策である。課税所得の圧縮は、富裕層により大きい利益をもたらす。税制や社会保障制度を見直すことは必要だが、制度の一部を競り値のようにいじることは、弊害をさらに大きくする。ここで問われるのは、野党の政策能力である。確かに、アベノミクスの破綻により、円安と物価高が人々を苦しめている。しかし、一部の野党が言うように消費税をなくすことが問題解決

Information

くとうば じんじけー ～琉球・島じまのナラティブ～

12月14日(土)14:30～ 日比谷コンベンションホール(日比谷図書文化館地下1階/日比谷駅・霞ヶ関駅) 琉球諸語について 講師:仲間恵子(琉球諸語 研究者) / 唄と三線:垣花暁子(かきのはなあきこ) / トークセッション 前売り1000円/当日1500円 沖縄・一坪反戦地主会関東ブロック 090-3910-4140

ドキュメンタリー上映会 自衛隊の南西シフトと米軍基地

12月15日(日) 14:00～16:00 北野市民センター7階会議室1(京王線北野駅) 「琉球弧を戦場にするな」(55分)、「ドローンで見る沖縄の基地」(40分) 500円 沖縄とつなぐ八王子の会 070-5567-4997 (榎本) / 090-1791-0488 (島袋)

東海第二原発うごかすな! 日本原電本店前抗議行動

2025年1月8日(水) 17:00～18:00 日本原電本店前(末広町駅・秋葉原駅) とめよう!東海第二原発首都圏連絡会/再稼働阻止全国ネットワーク 070-6650-5549



1. 原因究明にあたっては調査の過程や資料も含めて情報を公表し、透明性を図ること
2. 原因が究明されるまで工事を中止すること

東京都知事 小池百合子 様
都議会生活者ネットワーク
岩永やす代
リニア中央新幹線トンネル工事
町田市のリニア中央新幹線トンネル工事現場に近い住民の家の庭で、地下から水と気泡が湧き出て、掘削工事を中断したとの報道がありました。現地のリニア小野路工区のトンネルは、地下40メートルを超える大深度地下をシールドマシンで掘り進めるものです。シールドマシンによる大深度地下の工事では、調布市で2020年外環道工事に伴う道路陥没事故が起こり、多くの住民が転居を余儀なくされるなど大変な被害になっています。町田市では、住民から同様の被害が起こるのではないかと心配する声が上がっています。

リニア中央新幹線は、超電導による磁気で浮上して時速500kmの超高速走行により、東京―名古屋を最速40分で結ぶ計画で、全長の約8割はトンネル構造です。建設工事が進められていますが、さまざまな問題が噴出しています。都内でも品川や町田の地下深くで工事がされており、10月には町田市の工事現場近くで地下から水と気泡が湧き出しました。リニアのトンネル工事が原因とみられています。

生活者ネットワークは、計画時からリニア新幹線に反対してきましたが、この事態を受け、11月8日知事宛てに以下の申し入れを行いました。



リニア非常口工事現場から約500メートルに位置する、町田市内の噴出地点。2日間水が出続けたという(水たまりは雨水の影響)

東京・生活者ネットワーク
都議会REPORT

リニア新幹線は見直しを

東京・生活者ネットワーク都議会議員
岩永やす代 [国分寺市・国立市]



2025年3月
小金井市議選にむけて

安田けいこ
やすだ・けいこ

小金井・生活者ネットワークは、2025年3月23日投票の小金井市議会議員選挙にむけて、現職・安田けいこの擁立を決定しました。議席の継続をめざします。

小金井市議選 3月16日告示・23日投票

■1971年横浜市生まれ■武蔵野美術大学短期大学部卒業。広告代理店、靴メーカー勤務、デザイン制作会社で編集デザインに携わる。2012年フリーランスに■11年くりのみ保育園父母会役員■13年仲間を募り、フリーペーパー「184magazine」創刊■13年みなみ学童父母会役員■15年「はけの自然と文化をまもる会」結成。都市計画道路問題に取り組む■小金井市環境市民会議運営委員、都市計画マスタープラン策定委員■21年小金井市議会議員初当選、建設環境委員会



「0」にすること、中学校卒業後に希望進路をもつ生徒の進路未決定者を「0」にすることの2つを達成目標として掲げ、①魅力ある学校づくり、②支援ニーズの早期把握と組織的対応、③多様な教育機会・居場所の確保、④社会的自立をめざした中・長期的支援の4つの取り組みの方向性を柱としている。

不登校の子どもの増加する中、八王子市教育委員会では、「みんなが八王子の宝」を合言葉に、市立小・中義務教育学校における不登校総合対策「つながるプラン」を策定した。2023年度から実施しているこのプランは、5カ年をかけて学校内外で専門的な指導・相談等を受け

多様な教育機会・居場所の確保として、給食センターを始め、図書館や子ども・若者育成支援センターとの連携、学校内において、別室支援や学校園を活用した取り組みを進めている学校もある。また、昨年度はスクールソーシャルワーカーを増員し、登校支援コーディネーターとの連携により、支援の強化に努めている。

「0」にすること、中学校卒業後に希望進路をもつ生徒の進路未決定者を「0」にすることの2つを達成目標として掲げ、①魅力ある学校づくり、②支援ニーズの早期把握と組織的対応、③多様な教育機会・居場所の確保、④社会的自立をめざした中・長期的支援の4つの取り組みの方向性を柱としている。

八王子・生活者ネットワーク市議会議員
玉正さやか

学校だけでなく子どもの学びの場を
ひろげようー八王子発

都政
NOW
区市とつなぐ



多摩南エリアに在る、各地域生活者ネットによるテーマ活動「不登校支援」で行なった、「八王子市教育委員会登校支援」視察後の庁舎前で。1月22日

真に多様性を認め合う学校
教育への転換を

不登校の背景には様々な要因があるが、そもそも「学校に登校する」という結果のみを目標にするのではなく、学校以外にも人や社会とつながる場所が増えていることで、自分に合った学びの場を選ぶことが可能であるという認識も広がってきている。

編集後記/政治スケジュールに明け暮れた本年も残りわずかとなりましたが、みなさま如何お過ごしでしょうか。日頃は、「生活者通信」を定期購読いただき、誠にありがとうございます。記事内容に賛同され、封書にてご意見をいただいた方、複数部の活用についてお申し出いただいた方、カンパによるご支援をいただいた方も多くいらっしゃいました。参加と自治の市民政治を進める、東京・生活者ネットワークへのご理解と励ましに心より感謝申し上げます。一方で、生活者ネットを支え続けてくださった大切な方々との別れもありました。永遠(とわ)の別れもまた、世の常ではありますが、であればなおさら、方々の教えを改めて胸に刻み、「生きる」ことの価値を見失わず、市民政治ネットワークの運動が困難に立ち向かう人々の力にならねば、と考えますこの頃です。国政、都政、地方政治ともに変革の時代に在ります。2025年も、変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。みなさま、どうぞよいお年をお迎えください。(加藤)